


 PRODUCT DATA

## トップコート

トップコートは靴の最終化粧です。甲革に光沢を与え、色調を深め、平滑で味のある表面に整えると共に、物性や耐水性を向上させることで素材やデザインを活かした商品に完成させる重要な工程です。

トップコートはベースコート処理後、スプレーガンを使用して塗布する場合がありますが、スポンジを使用して塗布する方法もあります。

### ■スプレーガンを使用する場合

コンプレッサーの圧力 : 3.5～4.5kg/cm<sup>2</sup>  
 スプレーガンの口径 : 0.6～1.0mm が最も適しています。

### 【使用方法】

甲革全体に均一に濡れる程度(表面に薄く仕上剤の液膜ができる程度)までスプレーガンで塗布します。艶のムラが出来ますので部分的に多く掛けないように注意が必要です。塗布後は乾燥するまで手で触れたり、ホコリの付きやすい場所に置いたりしないでください。

通常約30分くらいで表面は乾燥しますが、バフ工程に移るなどの場合は2時間以上、箱詰めなどの場合は半日以上乾燥させてから行ってください。(時間は目安です。気象条件などで変化します。)

トップコートは素材や仕上がり感、仕上工程などによって選択します。

### 【スプレー塗布用】

○CTopp #336 光沢：★★★★★ 透明感：☆☆☆☆☆  
 ギン付き革用の水性トップコートです。透明感が非常に強く、樹脂調の高光沢な仕上がりりが得られます。乾燥塗膜はツルツルした感じで手触り感が良いです。スプレーガンを使用して塗布してください。

○CTopp #404 光沢：★★★★★ 透明感：☆☆☆☆☆  
 ギン付き革用の水性トップコートです。ワックスが主成分であります。透明感のあるクリヤーな光沢の仕上がりりが得られます。スプレーガンを使用して塗布してください。

○LL-291 光沢：★★★★ 透明感：☆☆☆  
 ギン付き革用水性トップコートです。ワックス配合比率が高く、適度な目潰し性とやや落ち着いたクリーム調の光沢が得られます。スプレーガンを使用して塗布してください。

○ボックスストーン#2000 光沢：★★★ 透明感：☆☆  
 ギン付き革用水性トップコートです。ワックス配合比率が高く、適度な目潰し性とやや落ち着いたクリーム調の光沢が得られます。スプレーガンを使用して塗布してください。

○新クリスタルワキシー 光沢：★★ 透明感：☆☆☆☆  
 ギン付革用水性トップコートです。ほとんど皮膜感を感じさせない透明感の高いナチュラルな仕上がり感とクリーム仕上に近い風合いが得られます。スプレーガンを使用して塗布してください。

○アメダストップ#3520 光沢：★★★★★ 透明感：☆☆☆☆☆  
 ギン付き革用水性トップコートです。透明感のある光沢と特殊なワックスエマルジョンや撥水成分の配合により、塗布後簡単なバフ処理で撥水効果のある仕上がりりが得られます。ソリッドアメダスなどを併用しますとさらに撥水効果がアップします。スプレーガンを使用して塗布してください。


**PRODUCT DATA**


○TEトップ#100改-3 光沢：★★★★ 透明感：☆☆☆☆  
 ギン付き革用水性トップコートです。先芯の仕上とトップコートを兼用できる仕上剤で、透明性、目潰し性に優れています。先芯1回スプレー塗布後、全体にスプレー塗布が可能です。スプレーガンを使用して塗布してください。

○ブライトロープ  
 起毛革専用水性トップ液です。無色タイプをスプレー塗布することで、素材の色合いを鮮明にすると共に、非常にソフトでしっとりとした感触を付与します。さらに、色物を使用すれば若干の色補正も可能です。

**【手塗り用】**

○ACI#104 光沢：★★★ 透明感：☆☆☆  
 ギン付き革用手塗りタイプの水性トップコートです。レベリング性が良く、クリーム調の深みのある落ち着いた仕上がりが得られます。スポンジを使用して塗布してください。

○セルフシャイン 光沢：★★★ 透明感：☆☆☆  
 ギン付き革用手塗りタイプの水性トップコートです。クリアな光沢の仕上がりが得られる手塗りタイプの標準品です。スポンジを使用して塗布してください。

**【甲革の仕上げ】**

○水性仕上げ例  
 ※ソフトな風合いの仕上げ  
 CLクリーナー(布拭き) → フローベース(スポンジ塗布) → FG-MA改(先芯部スプレー塗布) → LL291(スプレー塗布) → フィラーワックスS(布ブラシ) → ハイクリスタルワックス

※光沢のある仕上げ  
 CLクリーナー(布拭き) → フィラーベース(スポンジ塗布) → 先芯A303(先芯部スプレー塗布) → Cトップ#336(スプレー塗布) → フィラーワックスS(布ブラシ) → ハイクリスタル

## ○手塗り仕上げ例

※薄膜調な仕上げ  
 CLクリーナー(布拭き) → フローベース(スポンジ塗布) → ACI#104(スポンジ塗布)

※クリーム調な仕上げ  
 CLクリーナー(布拭き) → フィラーベース(スポンジ塗布) → リーガルクリーム改(スポンジ塗布) → 毛ブラシ

使用素材の状態や作業条件など、変化する要因も多いため、事前に必ず仕上テストを行い、仕上がり感や物性をご確認下さい。

発行/株式会社 **JOYPA** 化成品

東京：東京都台東区寿4-16-7 TEL03-3844-7117  
 大阪：大阪市西区京町堀2-13-6 TEL06-6448-7814  
[www.columbus.co.jp](http://www.columbus.co.jp)

